

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-62935(P2011-62935A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-216167(P2009-216167)

【国際特許分類】

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 5/30 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 21/00 Z

B 4 1 J 5/30 Z

H 0 4 N 1/387

G 0 6 F 3/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月18日(2012.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

この画像サイズは、X 方向が 2 1 0 mm、Y 方向が 2 9 7 mm で、3 つの描画オブジェクトを含んでいる。尚、符号 1 2 0 1 で示される矩形領域は、図 8 の矩形領域と同じ座標位置にある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

次に S 2 5 に進み、図 1 4 のラジオボタン 1 4 0 2 がチェックされていたかどうかを判定する。ここでチェックされていると判定すると S 2 6 に進み、S 2 4 で解析されたジョブチケット情報のうち、倍率の設定項目の設定値を取得する。次に S 2 7 に進み、C P U 3 0 1 は、S 2 6 で取得した倍率の設定値と、S 2 4 で解析した倍率の設定値が同じか否かを判断する。それによって、C P U 3 0 1 は、合成対象の画像データに基づいてシートに印刷される画像と被合成対象の画像データとが一致するか否かを判断する。S 2 6 で取得した倍率の設定値と、S 2 4 で解析した倍率の設定値が同じである場合、C P U 3 0 1 は、S 2 7 の処理を行わず、次に進む。一方、S 2 6 で取得した倍率の設定値と、S 2 4 で解析した倍率の設定値が同じではないと判断した場合、S 2 7 の処理を行う。S 2 7 で、C P U 3 0 1 は、S 2 6 で取得した倍率値を印刷設定項目に反映する。即ち、この段階で被合成画像の倍率と、合成対象であるデジタル印刷機 1 0 0 0 に保持されている文書データの倍率とが同じになる。一方、S 2 5 の判定結果が偽 (N O) であれば、合成対象の文書データの倍率の整合処理は不要であるため、この処理を終了する。